図表の読み取り方やそれに対応している叙述の読み取り方を活用しながら，
図表を用いたことの是非を考える

第１学年　国語科学習指導案

１　単元名　　筆者の見方・考え方を探ろう（７月上旬）

２　用いる教材　　「食感のオノマトペ」（三省堂）

３　単元のねらい

○　文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見などとを読み分け，目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすることができる。
○　文脈の中における語句の意味を的確にとらえ，理解することができる。
○　文章に表れたものの見方や考え方をとらえ，自分の見方や考え方を広くすることができる。
（言語活動）
○　文章と図表などとの関連を考えながら，説明や記録の文章を読むこと。

４　指導計画（全６時間）

第一次	１時間目	通読後，初発の感想を書く。 音読練習後，難語句を調べる。
第二次	１．２時間目	意味段落ごとに要約し，全体の構成を読み取る。
	３時間目	P.41 のグラフのグラフに対応する本文を見つけ，グラフを用いた筆者の意図を考え，それに対する考えをもつ。
第三次	１時間目	要旨を考え，それに対する自分の考えをもつ。
第四次	１時間目	本文から得た疑問について調べて自分なりの考えを加えながらまとめる。

５　指導の構想

本単元は，第１学年の「Ｃ読むこと」の言語事項例「ウ文章と図表などとの関連を考えながら，説明や記録の文章を読むこと。」を取り入れたものである。

指導計画にあるとおり，まず書かれている内容を読み取りながら，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見などとを読み分け，全体の構成をとらえる。その後，文章と図表との関連や要旨をとらえてから，筆者のものの見方や考え方に対する自分の考えをもたせ，交流させる。これは，文章の形式と文章に表れているものの見方や考え方の両面に対して自分の考えを形成させることをねらっている。単元の最後には，オノマトペに関連した課題を自ら解決していく時間をもち，図書館などから様々な情報を収集しながらまとめていく学習をしていく。

次ページにあるように，本時は，文章と図表などとの関連を考えながら本文を読む言語活動をする中で，図表の読み取り方やそれに対応している叙述の読み取り方を活用しながら，この図表を用いたことの是非を考えていく。そこでは，図表がある場合とない場合とを比較して考えたりしながら，この図表でよいかの判断をしていくことになる。

６　本時の指導

(1)　本時のねらい（４／６時間目）

グラフとそれに対応する文章の関連を考えながら本文を読む中で，グラフの読み取り方やそれに対応している叙述の読み取り方を活用しながら，このグラフの修正の必要性を考えることができる。

(2)　展開

教師の働き掛け	学習活動と予想される反応	評価と留意点
１　グラフが説明している叙述がどこか問う。 発問「教科書 P.41 のグラフ「各世代ごとの，食感に関するオノマトペを使う人の割合」はどの叙述を説明するために用いていますか。」 生徒の反応によっては，指示「グラフのどの部分がどの叙述と結びついているのか，線で結びなさい。」を出す。	１　グラフの内容を読み取り，本文の中から対応している叙述を探す。 ・グラフで使われているオノマトペが教科書の出てくる順序と異なっている。 ・年代別のグラフなので，本文の「世代間の相違」と関係があるのだろう。 ・「中高年層」「若年層」とグラフが対応している。	・教科書のグラフが何を示しているのかをまず押さえさせる。その後，グラフによって説明が補われている叙述を見つけさせる。
２　叙述との対応から，グラフの修正の必要性を問う。 発問「このグラフをこのまま載せた方がよいと思いますか。」 （思考力・判断力を育成する）	２　グラフが本文の説明を十分にしているか考え，修正の必要性を判断する。 ・本文は，オノマトペの数から世代間の相違へと書かれている。それがすぐに分かるグラフが必要である。 ・本文の順序に対応したグラフが必要である。	・グラフと本文の読み取りを活用して，自分の考えをもたせる。 ◇前時と本時に読み取った内容を活用しながら，グラフの修正が必要かを判断できる。
３　一人一人の考えを班ごとに話し合わせる。 指示「グループで話し合い，班の意見をまとめなさい。」	３　一人一人のグラフの読み取りやグラフと叙述の対応の読み取りとグラフを修正する必要性に関する考えを知る。	・修正が必要かの判断の違いではなく，何を根拠に判断したのかを整理させる。 ・各自の判断の参考となるように，判断の理由となっている内容を板書で整理する。
４　班ごとの意見に基づいて，全体での意見を交流させる。 指示「各班の意見を聞いて，このままグラフを載せるべきか，修正したグラフを載せるべきかの意見を発表してください。」	４　修正の必要性に関する考えを比較し，自分の考えを見直す。 ・グラフのように細かく年代を分けると本文がより理解できるという意見に納得だ。 ・グラフの順序にも意味があるという意見にも賛成だ。	
５　話し合いを基に，最終的な自分	５　友達の考えを参考しながら自	◇友達と自分の判断の

の考えをまとめさせる。 指示「これまでの発表を聞いて自分の考えをノートにまとめなさい。」 （表現力を育成する）	分の考えをまとめ，表現する。	根拠を比較し，より妥当な根拠だと判断し，書くことができる。